

部局名	総務企画部	所属名	情報管理課 情報公開室	所属長名	八木澤 進	電 話	483-1151 内線2125
-----	-------	-----	-------------	------	-------	-----	-----------------

1. 事務事業の位置付け・概要（P L A N）

コード	3654		事務事業名称	個人情報保護事業					短縮コード	経常	3654	臨時	
予算区分	会計	01	一般会計	款	02	総務費	項	01	総務管理費	目	10	情報管理費	
区 分	☒ 自治事務 ☐ 法定受託事務 ☐ その他			根拠法令等		八千代市個人情報保護条例							
事業概要（事務事業を開始したきっかけを含めて記入）													
個人情報の保護の総合調整に関すること。 昭和62年3月に電子計算機処理に係る個人情報の保護に関する条例が施行された。その後、市民のプライバシーに関する意識が高まり、その考え方も自己に関する情報の流れをコントロールする権利があるとする積極的なものになってきたため、同条例を廃止し、平成11年4月に個人情報保護条例が施行され現行の事業が開始された。													
事務事業を取り巻く状況の変化 又、今後の変化の推測				総合計画の施策体系	5本の柱（章）	06	計画推進のために						
1．市民のプライバシーに関する意識が高まり、市が保有する個人情報の適正な取扱いに対する関心が高まってきた。 2．職員が個人情報保護制度の趣旨を認識してきた。 3．国においても個人情報保護制度の法制化がなされた。					大項目（節）	01	パートナーシップによる市政運営と市民自治の推進						
					中 項 目	01	パートナーシップによるまちづくりの推進						
					小項目（施策）	01	透明性の高い市政の推進						
					細 項 目	04	個人情報保護の拡充						
実 施 計 画 の 計 画 事 業													
計画事業の位置付けの有無			☐	計 画 事 業 期 間		～			計 画 事 業 費		千円		

2. 事務事業の目的・指標・実績（D O）

対象 （誰を何を対象にしているのか）	1．市が保有する個人情報 2．市民をはじめ誰でも 3．実施機関							
手段 （具体的な事務事業のやり方、手順、詳細）	※平成20年度に実際に行ったこと： 1．個人情報取扱事務登録簿の整備 2．自己情報開示請求の対応 3．個人情報保護審査会及び個人情報保護制度運営審議会の開催 4．個人情報に関する苦情・相談対応 5．個人情報取扱事務の所管課に対する個人情報保護制度の周知（指導，相談対応，研修を含む） 6．個人情報保護条例の一部改正							
	※平成21年度に計画していること： 平成20年度と同様。							
意図 （何を狙っているのか）	1．市が保有する個人情報の保護 2．プライバシー侵害の防止等，個人の権利利益を保護 3．個人情報保護制度の一層の充実を図る。							
結果 （どんな結果に結びつけるのか）	入力対象外							
区 分				単位	19年度	20年度		21年度
					実績	計画	実績	計画
対象指標	指標1	個人情報取扱事務登録件数	件	861	864	870	875	
	指標2	人口	人	188,624	191,000	191,469	194,000	
	指標3	実施機関	機関	9	9	9	9	
活動指標	指標1	自己情報開示請求処理件数	件	16	10	8	6	
	指標2	自己情報開示等決定処分に対する異議申立て件数	件	6	0	0	0	
	指標3	情報公開室における相談・問い合わせ件数	件	407	500	426	500	
成果指標	指標1	処分に対する，異議申立てがなされなかった件数の割合	%	63	100	100	100	
	指標2							
	指標3							
上位成果指標	指標1							
	指標2							
	指標3							

コード	3654	事務事業名称	個人情報保護事業				所属名	情報管理課 情報公開室
今後の方向性	⑥この事務事業の今後の方向性を選択し、その詳細について右欄に記入する。	☐ 改革・改善して継続			個人情報を取り扱う事務に携わる職員が、その適切な取扱いについて意識と能力を向上させていくため、研修を継続して行う。			
		☐ 手法プロセスの改革・改善						
		☐ 事業規模の拡大・縮小						
		☐ 統合・役割見直し						
	☐ その他							
☐ 廃止(事業完了含む)								
☐ 休止								
☒ 現状のまま継続								
	⑦この事務事業の今後の経費・成果の方向性について選択し、右欄に理由を記載する。			経 費			個人情報を取り扱う事務に携わる職員が、その適切な取扱いについて意識と能力を向上させることにより、自己情報の開示等の請求が減り、事務手続きの業務の軽減が図れる。	
				削 減	不 変	増 加		
		成 果	向 上	☒	☐	☐		
			不 変	☐	☐	☐		
低 下	☐		☐	☐				

この事務事業に対する市民や議会の意見（担当者が把握している意見） ※内部サービス業務の場合は、住民ではなく、サービス利用者、関連部門の意見や実態など				
1. 個人情報の漏洩等の対策は取られているのか。 2. 個人情報とはどのようなものを言うのか。 3. 個人情報保護に対する過剰反応が見られる。				

所属長コメント	今後とも、市が保有する個人情報の保護を図るため、職員研修等により意識の高揚に努め、制度の適正な運用に努めて参りたい。			
評価調整委員会評価	☐ 改革改善して継続		担当課の評価のとおり現状のまま継続とする。	
	☐ 手法プロセスの改革・改善			
	☐ 事業規模の拡大・縮小			
	☐ 統合・役割見直し			
☐ その他				
☐ 廃止(事業完了含む)				
☐ 休止				
☒ 現状のまま継続				